

# 「テレワーク施設活用ガイドライン」と オフサイトミーティングのすすめ

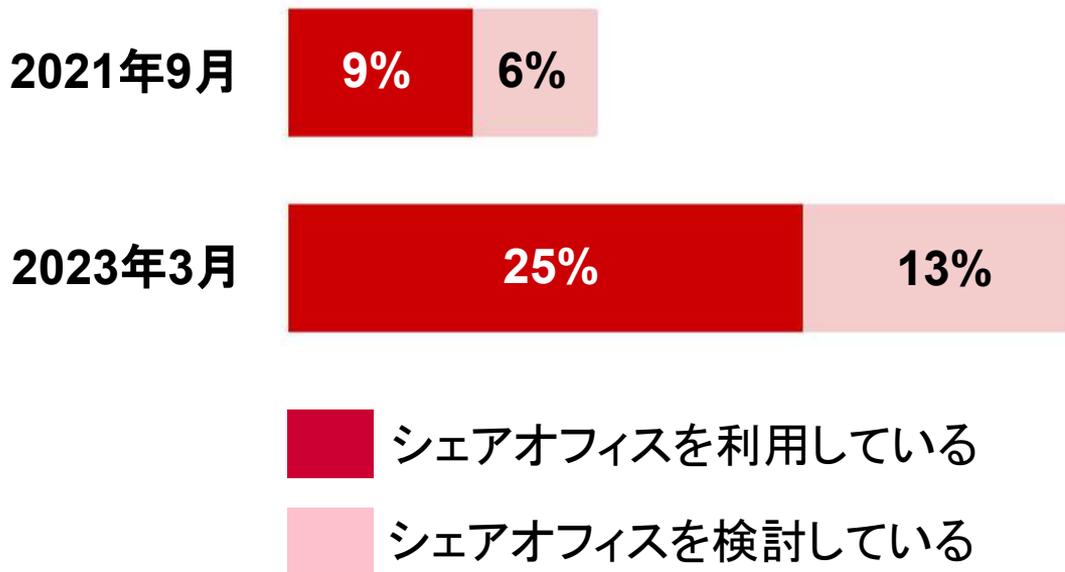
2024.1.12

NTTコミュニケーションズ株式会社

山本 清人

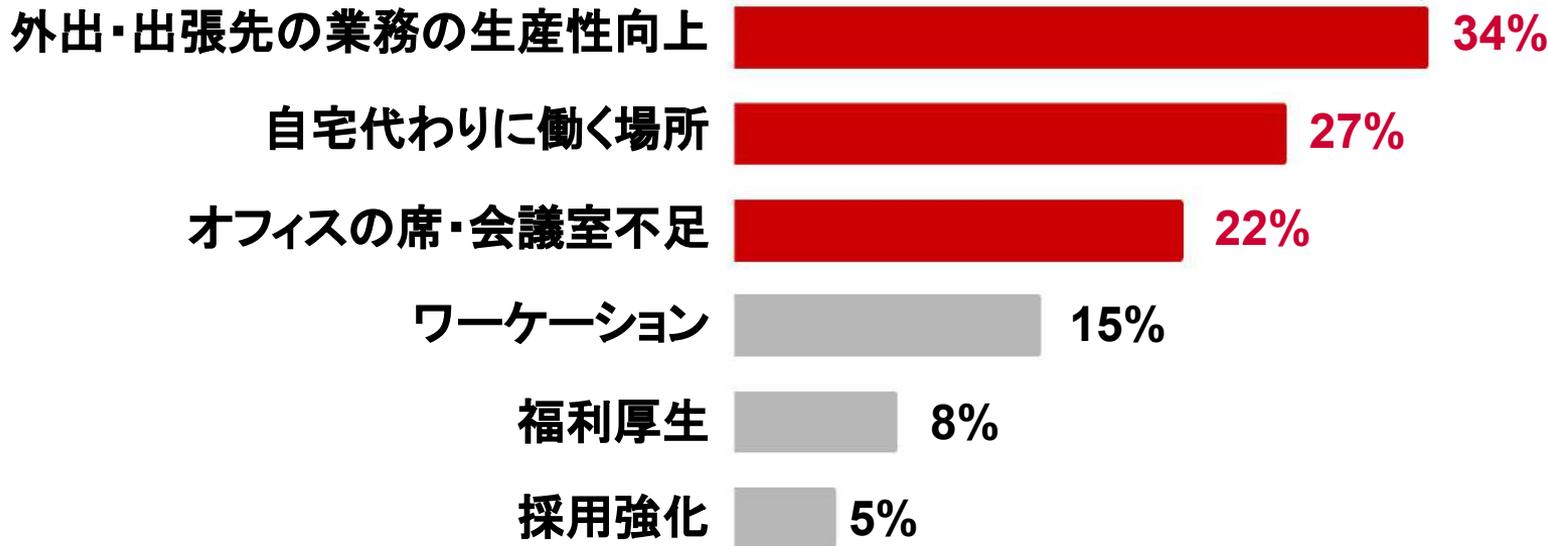
# テレワーク施設(シェアオフィス等)の導入状況

利用・検討する企業が2.5倍に増加



# シェアオフィスの主な利用目的

リモートワークの生産性向上やサブオフィスとして活用されている



場所  
(エリア)

セキュリティ

コスト

ポリシー・ルールの整備

## 日本テレワーク協会監修のもと「テレワーク施設活用ガイドライン」を発行

はじめに（目的）

働き方改革を一層進めることで生産性や従業員のウェルビーイングをたのまず向上させることは組織にとって重要な課題です。改革の実現手段であるデジタル化やテレワークについても内容をブラッシュアップしていく必要があります。例えばテレワークの実施を許可する場所については自宅等のみでは執筆空間の確保や家族との兼ね合い、移動効率の観点などで不便なケースもあり得るため、シェアオフィス、コワーキングスペース、レンタルオフィス、サテライトオフィス、ブース型オフィス、カフェなどで通信や電源が整備されている場所等のテレワーク施設（以下テレワーク施設といいます）の活用も一手です。

このテレワーク施設活用ガイドライン（以下、本ガイドラインといいます）は、組織でテレワーク施設の利用を許可し管理する管理部門が考慮すべき内容と、許可された場合に利用者が順守すべき内容について記載しています。また厚生労働省の「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン（以下、厚労省テレワークガイドラインといいます）」については、テレワーク全般の導入及び実施にあたっての留意点等を示すものとして、総務省の「テレワークセキュリティガイドライン」はテレワークの導入・活用のために必要なセキュリティ対策等を示すものとして、本ガイドラインを活用する上での参考、指針となります。政府のガイドラインおよび本ガイドラインに沿って適切にテレワーク施設を選定、活用することで、組織の更なる働き方改革が進展することを期待しています。

人事総務部等管理部門向け

管理部門での検討内容は、テレワーク施設の利用に適する業務や利用を希望する従業員の把握と利用ルール制定等社内での対応と、テレワーク施設の視察や運営事業者へのヒアリング等社外での対応の大きく2種類があります。従業員が安心してテレワークが実施できる施設を選定することは、生産性やウェルビーイングの向上にとって非常に重要です。

1. テレワーク施設導入ステップ

(ア)テレワークを推進する目的との整合性

労使双方にとって有益となるよう、生産性向上や心身の健康を維持、向上させ働き方改革を推進するうえで、テレワーク施設の利用は必要となっているか、

（イ）正、適切な作業環境確保、顧客対応）

（ロ）困難ないしは希望しておらず、テレワークや顧客対応に最適な場所での勤務が

（ハ）使用者側で利用料を負担する施設の割引清算方法を定める。

（ニ）発行の就業規則との整合性を図る（就業

（ホ）間の管理方法を明示する。テレワークに使える時間か否かによって労働時間とする。

（ヘ）は、利用目的を明示させ目的が完了した施設の利用による長時間労働を防ぐ。

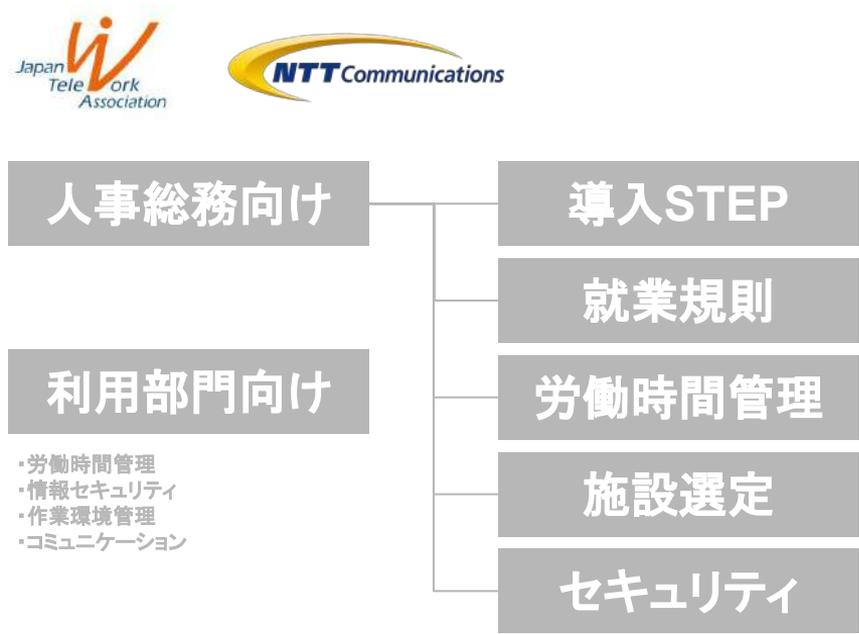
（ヘ）職場環境が情報セキュリティを適切となるよう従業員に具体的な対策を化に合わせて、テレワーク施設および更新する。

（ヘ）られる作業環境基準に適合するよう確認（チェックリストも参照）。

（ヘ）主な利用者となる部門等から構成するト

（ヘ）施設においてトライアル勤務を実施し、特に(イ)(ロ)については自社利用に適する

（ヘ）か判断した上で、本施設利用を決定する。



ガイドライン：NTTコミュニケーションズ作成、（一社）日本テレワーク協会監修、2023年12月



# 多様化するフレキシブル・オフィス市場

賃貸オフィス

設備

協働

プレイヤー



レンタルオフィス

占有

クローズ

シェアオフィス

占有/共用

クローズ

個室・ブース

共用

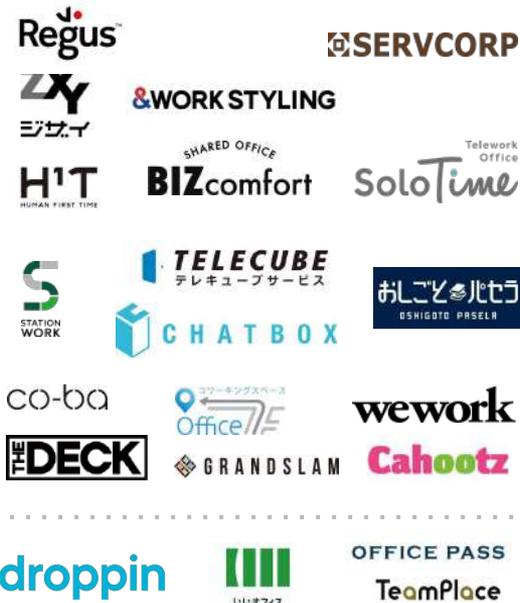
クローズ

コワーキングスペース

共用

オープン

プラットフォーム



# 多様化するフレキシブル・オフィス市場

賃貸オフィス

設備

協働

プレイヤー



レンタルオフィス

占有

クローズ

ジゼイ

SHARED OFFICE

コワーキングスペース

共有

オープン

プラットフォーム

近くて仕事できる場所がすぐ見つかる  
ワークスペースの即時検索・予約サービス

# droppin

好きな時間  
好きな場所で  
ワークする



# droppin 働く場所をフレキシブルに。



日本全国のシェアオフィスや  
個室ブースを予約・利用可能



法人向け機能でコスト管理や  
ワークスペースポリシー適用

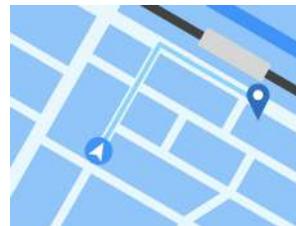


自社会議室もシェアオフィス  
もアプリで可視化・一元管理

## 全国38都道府県、800店舗・施設以上



## 外出・出張先の移動時間も安心・安全に生産性向上



## 総務・人事担当者が利用場所・コストを一元管理

### ポリシー設定



利用店舗の許可設定で  
施設をフィルタリング

### コスト管理



月額利用を上限設定し  
従業員の使い過ぎ防止

## 自社会議室・シェアオフィスの予約管理を統合



## オフィス内外のポートフォリオマネジメントを実現



オフィスの過不足を無くし  
シェアオフィスを適正利用

### 利用頻度が高いシェアオフィス (2023年9月)

先月、利用頻度が高いシェアオフィスが3件ありました。月極プランに変更することで、コスト削減できるかもしれません。

#### 1. レンタルルーム丸の内

東京本社 (東京都千代田区) から 3km 圏内

#### サマリー

総合計利用金額

上限 100,000円

80,600円

## 心理的安全性を高め、チームのパフォーマンスを最大化



古民家

ThinkSpace鎌倉



旧旅館

山梨・見晴亭



寺境内

鎌倉・安国論寺

# オフサイトミーティング事例(南あわじ市)

## 大阪・三宮から2時間内の合宿ワーケーション



CREATIVE HILL MINAMI AWAJI



## 防災ワークショップで都市・自然災害を学ぶ

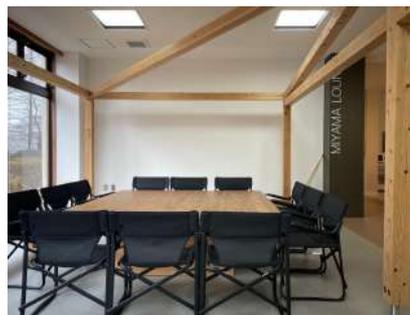


学び  
体験



駅前  
リモート

SAN\_AIワークス



集合  
Meeting

クラブハウス美山

## 働く環境の整備から、人的投資・EX向上へ



テレワーク施設  
活用ガイドライン



オフサイト  
ミーティング

droppin

<https://nttcom-droppin.com/enterprise/>

## コラボ出展

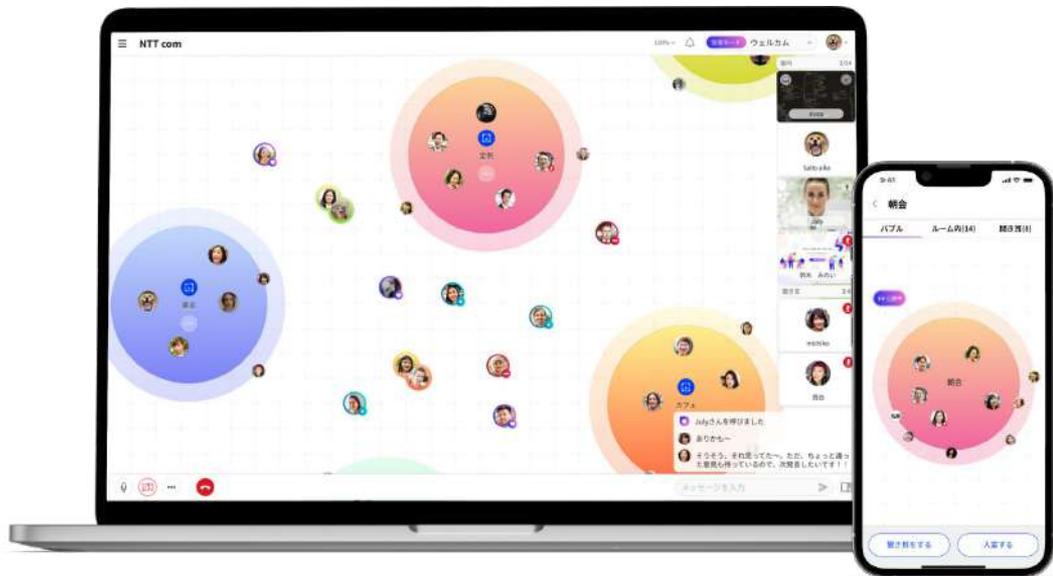
オンラインワークスペース



フレキシブルオフィス予約



NeWorkはリモートワークやオフィス、複数拠点が同じ空間でつながるオンラインワークスペースです



## ✔ ワンクリックで会話可能

複数人でも1対1でも、会議URL不要ですぐに会話を始められます。

## ✔ メンバーの様子が一目でわかる

誰が・どこで・何をしているのかがわかるので、会話のきっかけがつかみやすく。

## ✔ 会話をサポートする機能を網羅

画面共有やチャット、リアクション機能など、充実した機能を搭載しています。

▶ サービスサイトを見る